

手旗



手旗は赤と白の小さい旗のことを言い、この手旗により文字や記号、数字等を描き信号を送ることができます。手旗信号による通信方法は視覚で行うため、音響が届きにくい環境下で情報交換する上で有効です。また、機械を使わない分、原始的ながら確実性は高く実用的な通信手段であり、現在でも艦艇で使われています。



手旗信号の文字や数字等は原画（げんかく）という文字を構成するもとの形をそのまま使う又は組み合わせたものであるため、正しい原画の形を作ることができなければなりません。

写真のように教官を真似して繰り返し練習しました。旗は右手が赤旗、左手が白旗になります。





正しい原画を振ること（送信）ができるようになったら、次は受信訓練です。教官の送信を見て、理解することから始まり、慣れたら見ながら受信用紙に書くという訓練も行いました。



正しい形を覚えるために、頑張ってたっくさん反復練習してくださいね。